

ザンビア東部州における土壌肥沃度回復と持続的農業推進のためのアグロフォレストリーの評価
—2009/10 年作季の進捗報告—

S. B. Sokotela, M. Mwale and P. Munen

ザンビア農業研究所

要旨

ザンビア東部州で真常らが設置している野外試験地に隣接する圃場において、土壌肥沃度の回復のためのアグロフォレストリー種の展示と評価を実施している。候補となる種として *Grilicidia sepium*、*Mucuna repensis* (ハッシュウマメ)、*Cajanus cajan* (キマメ) を 2007 年より栽培している。いずれもマメ科であり、窒素固定による土壌肥沃度の向上が期待される。高さや基部直径の測定のほか、生育状態を目視により観察したが、特に目立った生育の遅滞は認められなかった。2009/10 年の雨季で *G. sepium* とキマメの栽培は終了した。次作季には、これらを刈り倒した後を耕地にしてメイズを栽培し、アグロフォレストリーによるメイズ生産性向上、土壌肥沃度向上の可能性について明らかにする。